

## 放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

## 概要

- 環境省では、環境中に放出された放射性物質対策を進めると同時に、放射線の不安や地域の環境再生の状況などに対して、分かりやすい情報の提供や知る、聞く、学ぶなどの機会を提供しています。
- 環境再生プラザ、放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターを主な拠点として活動しています。

## これまでの進捗

2020年2月29日時点

項目		2019年度 2月分	2019年度 累計
<b>■相談員支援センター</b>			
自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	1回	23回
	専門家派遣	0回	6回
住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	6回	61回
	車座意見交換会	4回	44回
<b>■環境再生プラザ</b>			
専門家派遣	自治体など	4件	38件
	小中学校など	6件	79件
	その他	1件	20件
移動展示		4件	44件
		5日	55日
<b>■その他</b>			
ホールボディカウンター (WBC)による線量測定		3日	81日
ガンマカメラ活用		9台日	149台日

## 今月の放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況

- ・富岡町において「放射能と放射線」について意見交換会を開催しました（相談員支援センター 2/7）。
- ・川俣町において「きのこ等の食品中に含まれる放射性物質」について意見交換会を開催しました（相談員支援センター 2/12）。
- ・飯舘村において「福島第一原子力発電所見学事前勉強会」を開催しました（相談員支援センター 2/14）。
- ・川俣町において「食品と放射能」についてセミナーを開催しました。（相談員支援センター 2/14）。
- ・棚倉町立棚倉小学校の全学年を対象とした放射線教育授業において、放射線の紙芝居、放射線の測定体験、霧箱製作と観察などをサポートしました（環境再生プラザ 2/17）。
- ・いわき市立平第一中学校の2年生を対象とした放射線教育授業において、放射線の基礎知識、放射線の測定体験、霧箱製作と観察などをサポートしました（環境再生プラザ 2/27）。

など

### ●来月の予定

- ・富岡町において「ホールボディカウンター（WBC）による線量測定」を予定しています。